

「居心地が良く、使われる公共空間をつくるために」

空間の評価と課題の特定を行うプレイス・ゲームのガイドブックを公開
～初めての日本版「プレイス・ゲーム | プレイスメイキング・ガイド」～

独立行政法人都市再生機構(以下、UR都市機構)は、一般社団法人ソトノバと共同研究を行い、プレイスメイキングのプロセスの1つである対象とする公共空間を統一的な視点から評価し、課題を特定する「プレイス・ゲーム」のガイドブック「プレイス・ゲーム | プレイスメイキング・ガイド」^{*1}を作成、公開しました。

■ プレイスメイキングとは？

「公共空間における居心地の良い居場所づくり」というプレイスメイキングはアメリカが発祥ですが、人や組織によって考え方が異なります。

UR都市機構が考えるプレイスメイキング^{*2}は、ひとの欲求やひとの活動から公共空間のあり方を考え、公共空間にひとりひとりの居場所をつくる手法として定義しています。例えば、誰もが自由に利用できる公園や駅前広場といった公共空間を、ユーザー目線に立って、居心地が良く、使われやすい空間にすることで、他者やまちとの関わりが生まれるような場所を目指すことです。

■ 「プレイス・ゲーム」について

先進的にプレイスメイキングに取り組むアメリカのNPO団体のPPS^{*3}が提唱するプレイスメイキングでは、公共空間活用の方向性を検討するため、複数の関係者とともにその場の評価と課題の抽出を行うことができるツール「プレイス・ゲーム」を取り入れていきます。「プレイス・ゲーム」は、誰でも簡単に行うことができるワークショップとなっており、快適さとイメージ、アクセスと接続、社会性、利用と行動の4つの観点から既存の公共空間を評価し、課題を特定します。

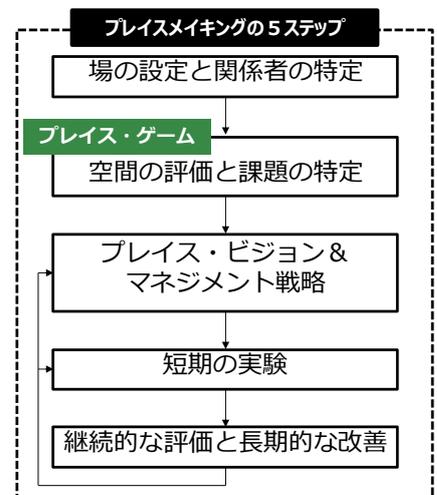
■ 「プレイス・ゲーム | プレイスメイキング・ガイド」について

この「プレイス・ゲーム」はアメリカで開発されたため、日本での適用には文化の違いなどを考慮する必要がありました。

そこで、今般の共同研究では、「プレイス・ゲーム」を実践するためのマニュアルをまとめた上で、日本に適用させたガイドブックを作成しました。この「プレイス・ゲーム | プレイスメイキング・ガイド」は、専門家でなくても簡単に始められるツールになっているため、プレイスメイキングの早い段階から一般の方に参加していただき、公共空間の評価や課題について議論し共通認識を持つことが可能です。「プレイス・ゲーム」によって得た共通認識をもとに、より一層ユーザー目線での居心地の良い居場所づくりを検討できます。

■ 今後の展開について

今後とも、実際の取り組みを通じて得られた成果や課題を踏まえて内容を更新し、UR都市機構のプレイスメイキングやまちづくり等に活用していく予定です。



<PPSのプレイスメイキングプロセス>

※1 「プレイス・ゲーム | プレイスメイキング・ガイド」は、下記URL(外部リンク)から閲覧・ダウンロードしていただけます。

<https://sotonoba.place/place-game-guide>

※2 UR 都市機構が整理したプレイスメイキングの考え方は、下記URLから閲覧していただけます。

<https://www.ur-net.go.jp/aboutus/action/placemaking/machiindex.html>

※3 Project for Public Spaces : 先進的にプレイスメイキングに取り組む海外 NPO 団体です。

<プレイス・ゲーム | プレイスメイキング・ガイド>



<過去の参考事例>

2020年

日時 12.8 (火)
13:00~16:10

参加費 無料

持ち物 歩きやすい服装・防寒具
(屋外を歩きます)

集合 多摩永山情報教育センター
京王相模原線「京王永山」駅 徒歩10分
小田急多摩線「小田急永山」駅 徒歩10分

申込 参加をご希望される方は、お電話にてお申込みください。
お問合わせ先(UR): 03-5323-4943
(「多摩ニュータウンのPlace Gameの件です」とお知らせください。)

注意 新型コロナウイルス対策
集合時の手指消毒・検温、マスク着用など衛生へのご協力をお願いします。
緊急事態宣言、自粛要請等が発生された場合、中止または延期の可能性がございます。

タイムテーブル(予定)

- 12:45 受付開始 (多摩永山情報教育センター) 5階 502/503
- 13:00 事前説明
- 13:50 まちあるき
- 14:40 グループワーク
- 15:35 全体共有
- 16:10 終了予定

主催 UR都市機構 トノバ



令和2年12月8日に多摩ニュータウン諏訪・永山周辺でプレイス・ゲームを実施し、準備やファシリテーションなど運営に関わる留意点を「プレイス・ゲーム | プレイスメイキング・ガイド」の作成にフィードバックしました。プレイス・ゲームには、UR都市機構と一般社団法人ソトノバに加えて、行政、地元自治会、大学生など計48名が参加しました。

【問合せ先】 本社 広報室 報道担当	(電話)045-650-0887 奥水、田之畑
アセット戦略推進部	(電話)045-650-0492 田中
技術・コスト管理部	(電話)045-650-0651 角田